



市大キャラクター
『ヨッチー』

公立大学法人横浜市立大学記者発表資料

文部科学記者会、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、神奈川県政記者クラブ同時発表

平成 28 年 2 月 23 日
研究推進課

横浜市の少子高齢化を見据えて 金沢区の次世代のまちづくりを考える

大学 COC 事業シンポジウムを3月24日(木)に開催

横浜市立大学は、平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業」に採択された「環境未来都市構想推進を目的とした地域人材開発・拠点づくり事業」において、金沢区の並木地区に拠点を置き、「コミュニティの活性化」、「健康に暮らせるまちづくり」に取り組んでいます。

環境問題とともに、「超高齢化対応」は環境未来都市・横浜の大きな課題です。金沢区は横浜市の中でも特に高齢化の著しい地域の一つであり、このシンポジウムでは、横浜市の郊外まちづくりがどのように進んでいるのか、「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を実現するにはどのようなことに取り組んでいくのか、「まちづくり」から暮らす人の「コミュニティづくり」まで、いろいろな角度からお話いただける方々をゲストにお招きし、金沢区とまちづくりの今後と連携の可能性を考えます。

日時 3月24日(木) 13:30～16:30

場所 金沢八景キャンパス カメラホール

<プログラム>

開会あいさつ (13:30～13:35)

横浜市立大学学長 窪田吉信

第1部 (13:35～14:15)

「横浜市が進める次世代まちづくり～超高齢社会と少子化」 横浜市建築局企画部長 秋元康幸 氏

第2部 (14:15～14:35)

「横浜市立大学 COC 事業における郊外まちづくり」事業推進責任者 国際総合科学部教授 鈴木伸治

「UDCN 並木ラボを拠点とした郊外まちづくり研究」国際都市学系まちづくりコース准教授 三輪律江

第3部 【ラウンドテーブル】(14:45～16:25) (登壇者は予定)

「郊外まちづくりの今後を考える～それぞれの役割と連携の可能性」

横浜市金沢区長 國原章弘 氏

京浜急行電鉄株式会社取締役 生活事業創造本部住宅事業部長 本多利明 氏

NPO 法人横浜プランナーズネットワーク理事 谷口和豊 氏

子どもの未来サポートオフィス代表 米田佐知子 氏

横浜市建築局企画部長 秋元康幸 氏

コーディネーター 横浜市立大学国際都市学系まちづくりコース准教授 中西正彦

閉会あいさつ (16:25～16:30)

横浜市立大学副学長 (地域貢献センター長) 重田諭吉

※文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」

自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指す文部科学省の事業で、横浜市立大学は平成 25 年度 319 件の申請の中から 52 件のひとつとして採択されました。平成 27 年度から、それまでの「地（知）の拠点」としての経験を生かして「地方創生」に取り組む「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」として継続されています。

YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先

研究推進課長 竹内 紀充 Tel 045-787-2019